

やまびこ

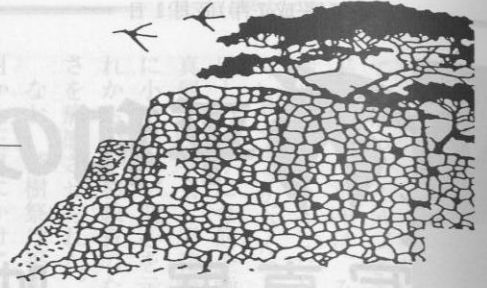
広報

8

1995

No.237

毎月1日発行



●今帰仁村の人口
 男 4,835人(+10) 女 4,837(+11) 計 9,672(+21)
 世帯数 3,200戸(+7) 平成7年6月末現在



の短冊を
 村を
 所
 で七
 タま
 つり
 をこ
 めて

「セーラームーンにな
 りたい」「おかしもチュ
 ウチュウもいっぱいほし
 いな」と短冊に願いを
 こめて――。

村立仲尾次保育所（上
 間昭子主任）で七月七日
 七夕が行われ、園児たち
 は浴衣やじんべえを着飾
 り、五色の短冊や金銀の
 星で飾った七夕竹を囲み、
 歌や遊戯などで楽しんだ。
 園児たちは枝に吊した
 自分の短冊を、だいじに
 持ち帰った。きつと楽し
 い夢を見たことでしょう。

今帰仁村民憲章

- 一、みんなで守ろう 恵まれ
 た自然と文化遺産を
- 一、みんなで作ろう うるお
 いとやすらぎのある村を
- 一、みんなで育てよう のび
 ゆく力と豊かな心
- 一、みんなでめざそう 健康
 で希望に満ちた村を
- 一、みんなで築こう 平和で
 明るい活力のある村を

二重と結び直してむさ。つ山内昌雄さん、風流分持ち

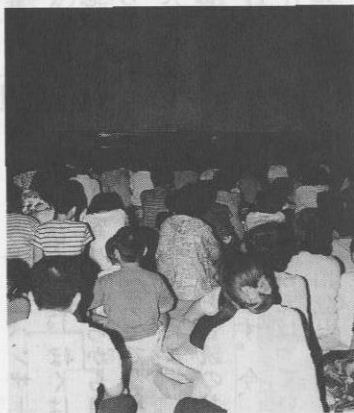


▲野外映画劇場、中央公民館中庭には、子どもたちが大勢集った。

てよかったと気づきました。平和という意味は、みんなが幸せに暮せることだと思いません。謝花あきさん(天小六)。

以上のように今回企画した写真展、映写会、平和学習は特に小中学生が関心を示し、これからの平和教育のたいせつさを痛感させられた。

なお、植樹祭は平成八年一月から三月にかけて行う予定です。



▲アニメ「かんからさんしん」は屋外での上映だけに、より効果があった。



「あった、あった」
大きいおじいの名前
を見つけ感動する
小那覇安義君(天底小六年)
平和の礎で



▲山内昌藤先生から説明を聞く平和学習に参加した子どもたち(平和祈念公園で)

平和の尊さを学ぶ

写真展・映写会・平和学習



▲テープカットをする上間博安村長(中)

戦後50年の意義ある節目の年に戦争を二度と繰り返さない。また、戦中・戦後の体験を風化させることなく次の世代に戦争の悲惨さと平和の尊さを伝えようと六月二十四、二十五の両日、「今帰仁村戦後50年事業」の一環として、写真展、映写会、平和学習が開催された。

二十四日午前、村コミュニティセンターでオープンセレモニーが行われ、上間博安村長は「忌まわしい戦争を二度と繰り返さないため、平和の尊さを次の世代に語り継いでいかねばならない」とあいさつした。

写真展は戦時中の戦場や収容所、惨たらしい死体、焦土化した村や町の写真等を中心に、戦前、戦後の沖縄や今帰仁の風景、生活の様子等、三百点を展示、二日間で延べ千人近くが参観した。

なお、アンケートを実施したところ、六歳から八十三歳まで四十五人の方々から回答があった。その結果を見ると、「この写真展を見ての感想」

○こんなにひどいものとは思わなかった。
○戦争の時の子どもは、かわいそう。
○戦争のおそろしさが分かった。

た。二度と繰り返してはならない。
二、「今夜の平和推進について」
○一人ひとりが自分のことだけでなく、みんなのことを考える。
○毎年、平和学習の期間を設ける。
○以上のような回答が多かった。

映写会は二十四日、村中央公民館中庭で午後八時からアニメ「かんからさんしん」が上映された。

夜空の下、三百人余の観客は雑談一つせず、真剣に見入っていた。また、時おりすすり泣く声が聞こえた。

今帰仁中学校三年の男の子は「とても感動した。戦争はとても残酷で罪もない子どもや年寄りがかわいそうだった。二度と繰り返してはならない」と涙をこらえながら話した。



▲悲惨な戦争の写真について、顔もこわばる。

で山内昌藤さん、島袋松春さん、伊集一隆さんの三人の方々の戦争体験談を聞き、戦争の怖さを実感した。

平和学習に参加した児童生徒の感想文の中から。

「平和学習に参加して私の知らない戦争の色々なことを学ぶことができて本当によかった」岸本江利香さん(天小六)、「平和の礎を見ると、たくさんの方が亡くなっているんだなあ」とびくりしました。礎に書かれた文字をなでて泣いている姿があり、痛々しく思った。私は今の時代に生まれ

学対シリーズ(15)



楽しい音読

今帰仁小三年 與那嶺 健太

夜の八時、ぼくの夕読みの時間です。

「お母さん、本を読むよ」
ぼくが大きな声で言うと、台所で食器洗いをしていたお母さんが手をふきながら「はいはい」とぼくの前にすわりました。となりの部屋で遊んでいた弟もかけて来て「にいにい、早く読んで」とお母さんにくつつくようにしてすわりました。お母さんと弟は、多くの音読を聞くのがとても好きみたいです。いつでもここにしながら聞いてくれるので、音読をしている時のぼくはとても幸せな気持ちになります。だから音読はぼくの大スキな時間なのです。

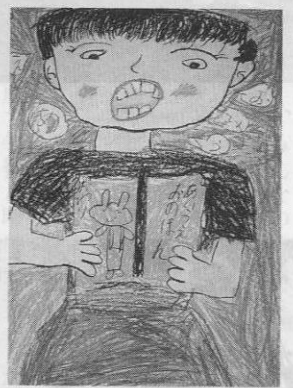
ぼくは、この音読の時間に国語の本を読みます。今日これから読む物語は「沢田さんのほくら」です。わくわくしながら本を開き気持ちをこめてゆっくり読みはじめました。読みすすめていくうちに、話の内ようや登場人物の気持ち

がよくわかり、ぼくの心は、この話の中にどんどんすいこまれていきます。時々お母さんたちの顔を見ると、二人とも「うんうん」とうなずきながら真げんに聞いています。だからぼくはさいごまでいっしょうけん命読みました。

読みおえると、お母さんと弟が、はく手をしながら「上手、上手、このお話とてもおもしろいね健太が気持ちをこめて読んでくれたから、沢田さんたちの悲しい気持ちやうれしい年持ちがよくわかったよ」とほめてくれました。ぼくの心の中は、ふわっとあたたかい風でいっぱいになりました。

読んでごらん」と言いました。はじめて読む詩なのでちょっときんちょうしたけれどすらすら読むことができました。先生は目をぱちくりさせて「さすが、かん字はかせ、まだ習っていないかん字もぜんぶ読めたね。えらい」とほめてくれました。まわりからもたくさんのはく手が聞こえてきました。ぼくはうれしくなっていました。「バンザイ」とさけびました。ぼくはかん字は二年生のころから自信があります。三年生で習うかん字はほとんど読めます。それは毎日の読書と音読のおかげだと思っています。今、学級のみんなががんばっている音読と読書の山登り」にもシールやラベルがいっぱいはられています。

よみます きかせます
たいようさんまでとどけ
心をこめて



今帰仁小1年
みねい あゆみ

きがにが手ですが、がんばったら何だかできそうな気がします。がんばるぞ！

「朝読み・夕読み」作文・標語・ポスターコンクール 優秀賞

今泊Aが兼次を下し優勝

第4回壮年ソフトボール大会

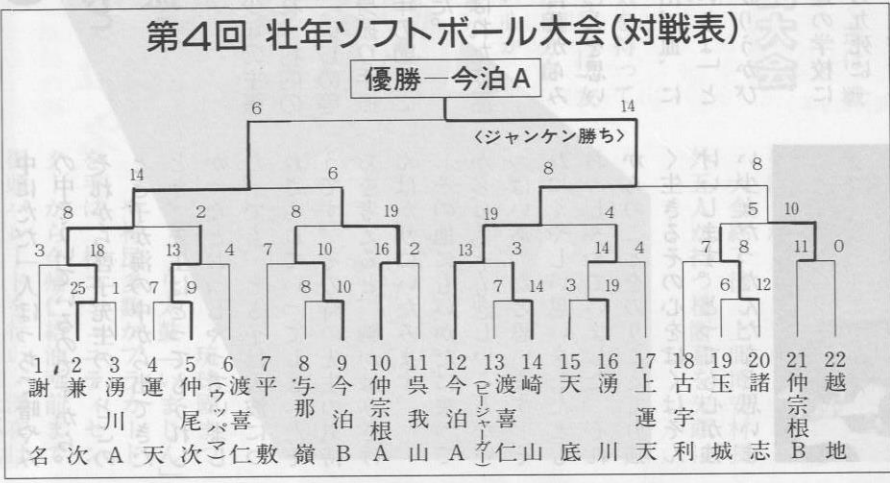
珍プレー続出、ジャンケンで決着も



▲今泊Aチームに優勝旗が贈られた。

日常スポーツに親しむ機会の少ない壮年(四十才以上)を対象に第四回村壮年ソフトボール大会が七月九日、十一

- ◎殊勲賞—新城 満(今泊A)
- ◎敢闘賞—大城秀輝(兼次)
- ◎個人賞は次のとおり。



▲打って、走って、守って

日、十三日、村運動公園サブグラウンドで二十二チーム(三百人余)が参加して開催された。

大会初日は炎天下、一・二回戦が行われ、珍プレーが続出し、大差の試合が多かった。二日目(準々決勝)からはナイターで行われ、外野席は夕涼みをかね大勢の応援団で埋まり、太鼓や指笛等の応援で盛り上がった。

準決勝の今泊A対仲宗根Bの試合は七分で決着がつかず、九人ずつのじゃんけんで争われ選手や応援団はかたずを呑みながら一喜一憂した。決勝は今泊A対兼次が対戦し総合力で勝る今泊Aが打撃戦を制し優勝した。

第20回 村PTAバレーボール大会

男子—今帰仁中P 女子—兼次小Pが優勝

手に汗握る攻防

村内PTA相互の交流を図り、親睦と理解を深め各単Pでの活動を高めようと村PTA連絡協議会(仲尾次吉澄会長)主催による第二十回村PTAバレーボール大会が六月二十五日、兼次小・中学校体育館で開催された。

大会には村内各学校PTAから男子八、女子八チームが参加してトーナメント方式で行われた。



▲女子決勝、兼次P対今帰仁中Pの息詰まる攻防

試合は一回戦から決勝戦まで手に汗を握る緊迫した試合が続いた。応援団も子ども達を中心に盛り上がった。

上間勲君(兼次中)千五百メートル大会新で優勝

中学校通信陸上沖繩大会が七月一、二の両日、県総合運動公園陸上競技場で行われ、上間勲君(兼次中三)が共通千五百メートル(4分27秒4大会新)と、三種B(272

8点)の両種目で、大城慎也君(今帰仁中二)は一年百メートル(12秒5)で優勝、大城千彰さん(今帰仁中三)は共通砲丸投げ(10メートル39)で二位に入った。

青少年の主張大会

第13回 戦争や平和・いじめ問題など 十六人が熱弁を振る

村教育委員会、村青少年協主催による第十三回村青少年の主張大会が七月十五日、村コミュニティセンターで行われ、村内の小中高校から十六人が家族や奨来の夢、戦争と平和、いじめ等自から体験したことや日頃から思っていることを、身振り手振り堂々と意見を発表した。特に今年、戦後五十周年の節目に当たることから戦争や平和についての意見が多かった。審査の結果は別表の通りです。なお、優秀賞に選ばれた作品は、順次広報で紹介していく予定です。



「戦争に思う」

湧川小6年 嘉陽 重人

「戦争」という言葉からみなさんは、どんなことを思い浮かべますか。ぼくは「死体の山、血、にげまわる住民、はいきよ」と暗いやなことばかり浮かびます。

六月十七日ぼく達の学校に對馬丸のひげきから九死に一生をえた平良啓子先生が對馬丸そうなんの事を話してくださいました。ぼくは、話の中で一番に残っていること、それは死体がうかぶ海がとてもしんどくでむごたらしいという事です。つみもない人達が何千人と死んでいるんです。啓子先生はとってもこわかったと思いま



す。何千人という人の死体の中にただ一人ぼつちで暗やみの中をうろついているのですから。それから啓子先生のいとこのとき子が海の中から出てきたとき、先生はとってもうれしかったとおっしゃっています。でも、とき子は大波につれさられていってしまったそうです。その時の先生の気持ちを考えると、胸がはりさけんばかりにいたみます。その他にもいかに乗っ取られて、とっても悲しいことがいっぱいあったと思います。それにくやしい思いをしたとおっしゃっていました。それからのことをのりこえて力強く生きるその心をぼくはそんげいします。とっても心が強い少女だったんだなと思いま

った人達、自ら命をおとした人達などいろいろいると思います。それもぜんぶ戦争のせいです。今の沖縄は、平和とっていただけよく考えてみると沖縄にはアメリカ軍の基地がたくさんあります。アメリカ人は、演習といって山などに大砲をうち山がはげているところもあります。また、原子力

青少年の深夜はいかい防止村民大会

プラカードを手に街頭パレード

青少年の深夜はいかい防止村民大会が七月十五日、村コミュニティセンターで開催され、村民二百人余りが参加した。

大会で西島一将教育長は「青少年の健全育成のため、村民一人ひとりが生活リズムを整え夜型社会を是正して、青少年の深夜はいかいをなくそう」とあいさつを述べた。

続いて平良将一さん(今年三年)と大城拓馬さん(北山高三年)が決意表明を行い、平良さんは「学校終了後はすぐ帰宅する。夜七時以後は外出しない。友



り太鼓「いまじん」や村民多数がプラカードを手に、村コミュニティセンターから今帰仁給油所前まで街頭パレードを行い、深夜はいかい防止を訴えた。

せん水かんが沖縄に寄ったり、戦とう機がとびかっています。沖縄では、今も危険ととなり合わせなのです。亡くなった人は安らかにねむろうと思っても、安心してまだねむれないと思います。平和な世の中にする事、それがぼく達にたくされた使命だと思えます。そのためには、ぼく達は、戦

争のこわさや、むごさを話し合い、もう二度と戦争をおこしてはならないということや戦争にあった人から話を聞いて、自分で本を作り、戦争のこわさを本でうったえることに、進んで、慰霊塔のそうじへ参加して、戦争のせいで死んでしまったかわいそうな人たちの霊をなぐさめることをがんばります。

大会終了後、上間博安村長外五人が持つ横断幕を先頭に

今帰仁郵便局長に親川恵一さん



親川 恵一さん

今帰仁郵便局長の諸喜田峯夫さん(仲宗根)の退職に伴い後任に親川恵一さん(今泊)

マンゴーの甘い味と香りを

「南国の甘い味と香りを全国へ」をキャッチフレーズに七月十四日、今帰仁郵便局(親川恵一局長)でマンゴーゆうパックの出発式が行われた。

出発式で親川局長は「今年で四年目を向えるマンゴーゆうパックも毎年着実に増え、昨年は千五百個の取り扱いだったが、今年も二千五百個を目標に村当局や生産者のご協力を得ながら、全国ネットにのせて局を挙げて積極的に取り組みたい」とあいさつを述べた。

おいしい今帰仁のマンゴーを一個でも多く日本全国津々浦々まで送り届けたい」と丹精込めて育てあげたマンゴーに自信のほどを示した。なお、平成六年度の村内のマンゴーはアーウィン種がほとんどで栽培面積八・三ha、生産量二十八・一トンであった。



▲パック詰めされたマンゴー

仲宗根の道ジュネー

仲宗根は今帰仁村で唯一マチの景観をみせる字である。マチとしての仲宗根の発展は明治にさかのぼることができ。古い集落はグシクンチチを背にした形で南斜面に発達している。

グシクンチチ付近にはお宮や神アサギなどがあり、神アサギ前の広場をはさんで豊年祭の舞台が設置される。仲宗根の豊年祭は五年マール。最近行なわれたのは平成五年である。五五年ぶりに棒術を復活することができた。



▲道ジュネー(旗頭を先頭に)(昭和30年)

豊年祭と関わる神行事として、本番の舞台前にイナブス森での御願踊(ウガンウドウイ)があり、乙羽岳の東方にあるスムチナ御嶽に向かって行なわれる。さて、道ジュネーであるが豊年祭の当日に行なわれる。旧事務所前から出発した時期もあるが、今は仲宗根橋の広場から出発する。広場から仲宗根橋を渡り、ターバルから山岳への直線道路を通り、山岳の手前の交差点から大井川橋へと向かう。大井川橋から

銀行の前を通り、プリマートから右折し集落内を通り神アサギのある広場へと進む。



▲道ジュネー(ターバルで)(昭和25年)

道ジュネーは字の有志を先頭に旗頭、長者の大王、子供達、路次楽、棒組、獅子、芸人と続く。上の写真は昭和三十年の道ジュネーのターバルでの場面である。右側に後に村長を勤める宮里政安氏や松本新一郎氏の顔が見える。旗頭を支えている人、旗頭のバランスをとる棒をもつ人、ドラや獅子のたずなを持つ人。その後に多くの字の方々が行列をなしている。そろそろ瓦葺きの家が建ち始める時代で、後方に何軒かセメン瓦の屋根が見える。

下の写真はその五年前、昭和二十五年の道ジュネーの場面である。戦後のムラの復興期の勢いが、一人ひとりの表情にうかがえる。右側のユーモラスな正装スタイルは宮里政安氏。白衣装に扇をかざし、花やチョウを被ってポーズをとっているのは婦人会の演し物だろうか。三味線を弾き、鉢巻をし、また杖をもち本番の衣装での道ジュネーへの参加である。後方には茅葺きの家。道ジュネーを見学している子供達は裸足である。戦後数年経ち、まだ戦争の痛みを胸に抱えてはいるが、時代の流行をとりいれ、モダンな服装で豊年祭を盛り上げている。乏しい材料をあれこれ工夫しながら、新しい時代を興しているというシマンチュの意気が伝わってくる。仲原弘哲 (歴史文化センター)

保健婦だより



暑さのきびしい季節になりましたが、いかがお過ごしでしょうか。私達の健康を守るために必要なことは、運動、休養、栄養が基本的な条件です。前回運動の大切さについて話したので、今回は栄養について考えてみたいと思います。

現在のわが国の食生活をみると、平均的には栄養状態は良好なものといえますが、一人ひとりを見ると、栄養のとり過ぎや偏りなどの新たな問題がみられるようになりま

食生活と健康づくり

国民栄養調査では、エネルギーのとり過ぎ、食塩のとり方もまだまだ多過ぎます。また、食事の洋風化などで、脂肪の摂取量が増える傾向にあります。

今後も、このような傾向が続けば、肥満や心臓病、糖尿病、がんなどの成人病の増加が予想されます。これまでの食生活をもう一度見直して、栄養のバランスを考え、毎食適量を摂取するよう心がけましょう。

それには、主食と主菜、それに副菜など数多くの料理をとりそろえることが必要です。料理に使用する食品の数を六つの基礎食品の各群からまんべんなくとって、三十食品を目標にすれば、自然に必要な栄養素をバランスよく摂取することができます。三十食品の数え方は次のようになります。



生野菜、緑黄色野菜でがん予防

の品目をわかるだけ数える。●素材として使われている食品がわからない場合は、全体を一品目として数える。●マヨネーズ、ドレッシングなどを除き、摂取量がごく少ない調味料や香辛料は数えない。六月より糖尿病予防教室で

調理実習をしています。その中で三十食品とすることは難しいという声が聞かれましたが身近な食品での献立例で実習をすると、試食の時には「これならできそう」という声が聞かれました。三十食品はあくまで目安です。普段の食事を少し意識し、一つでも食品の数を増やすよう努力してみましよう。

村婦人会リーダー研修会を開催

村婦人会(山内晴子会長)主催による平成七年度村婦人

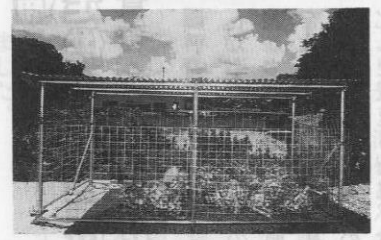


▲レク実技研修会、楽しくゆかに行われた。

会リーダー研修会が七月八日梯梧荘で会員約百人(各字割り当て)が参加して開かれた。研修会は、主体的活動をすすめるために必要な知識と技術を修得し、リーダーとしての資質の向上を図る目的で行った。研修内容は伊是名絹代氏(沖繩婦人少年室長)による「男女が生き生きと暮らせる地域づくりをめざして」の講演や三つの分科会(組織の問題、女性の生涯学習、くらしの問題)に分かれての六六討議最後は宮城清氏(石川市文化館長)のレク実技研修で楽しく締め括った。

仲尾次区がリサイクルの集積小屋を設置

仲尾次区(山内聰区長)はゴミのリサイクルを押し進めようと七月二十四日、ゴミ集積小屋を、仲尾次スパー前と上間商店前に二基設置した。集積小屋には、アキ缶や古新聞、古雑誌等リサイクルできるゴミが集められ、月に一度回収業者に引き取られる。ゴミのリサイクルに協力を。



▲設置後、アキ缶が次々と寄せ集められた(上間商店前)

入国警備官募集

— 高校卒業程度 —

▷ 受付期間 ◁

8月21日(月)～9月4日(月)

(9月4日消印有効)

▷ 受験資格 ◁

昭和47年4月2日～昭和53年4月1日生まれの者

▷ 採用予定数 ◁

約 約80名

▷ 試験日・試験種目 ◁



試験	試験日	試験種目	解答時間
第1次試験	10月1日(日) (9:00～13:35)	教養試験	2時間20分
		作文試験	50分
第2次試験	10月2日(月)	人物試験 身体検査 身体測定 体力検査	

※お問い合わせは法務省福岡入国管理那覇支局
那覇市樋川1-15-15 ☎(098)832-4185

募 集

中央公民館講座

健康教室

- 定員 20人
- 受付 常時
- 開級式 8月24日(木)

※問い合わせ村教育委員会 ☎56-2645

第4回 美しい日本のむら景観コンテスト

写真及びビデオ

- ① 写真で応募する場合は、単写真、組写真を問わない。なお、サイズはキャビネ版とする。
- ② ビデオで応募する場合は、10分以内のS-VHS、VHS、Hi8によるものに限るものとする。

テーマ

農村・山村・漁村を中心にした景観

※お問い合わせは経済課農政係 ☎56-2101



税の作文・標語

大募集

1. 趣 旨

今帰仁村では、このたび税の作文・標語のコンクールを実施いたします。税の作文・標語コンクールは、日頃、小中高生、一般村民が税にどのような関心と意識を持っているかということ把握するとともに、発表の場を提供することによって、税務行政のより一層の発展を期するために実施するものであります。ふるってご応募ください。

2. 応募資格

- ① 作文部門：村内の小中学生(5・6年) 中学生・高校生・一般村民
- ② 標語部門：村内の小中学生(5・6年) 中学生・高校生・一般村民

3. 募集期間：平成7年8月1日～9月8日

4. 実施主体：今帰仁村・今帰仁村租税教育推進協議会

5. テーマ

税に関するものであれば何でも結構です。

村民の皆さん、暴力(員)による不当な行為により困っていることはありませんか。

暴力団に関する「困りごと」の相談は

- 「恐れず」
- 「迷わず」
- 「勇気を出して」

暴力団追放沖縄県民会議にご相談下さい。

◎ 当県民会議は、弁護士等専門の相談員を委嘱し、相談者の「困りごと」に対して、適切な指導助言を行い、問題の早期解決を図っております。

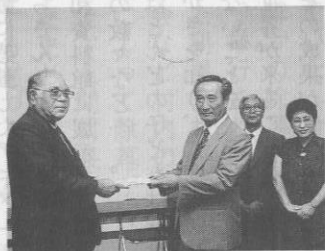
相談は無料です。

- 相談日は、毎週月曜日～金曜日
- 時間は、午前10時00分から午後5時30分まで
- 電話は、

なくそう ヤ ク ザ

(098)868-0893

財団法人暴力団追放沖縄県民会議



▲玉城諭会長(左2番目)から上間博安村長に目録が渡された。

北山郷友会が書架を寄贈

七月六日、北山郷友会(玉城諭会長)は今年五月にオープンした村歴史文化センターに図書整備用の書架四台を贈った。ありがとうございます。

ご 寄 付

■村社会福祉協議会へ

○上間静子さん(崎山三三四)より夫、源松さんの香典返しとして十万円。

○大城タケさん(平敷八七)より夫、重助さんの香典返しとして五万円。

■村育英会へ

○高良武裕さん(大阪府堺市)より人材育成へ五十万円。

※ご芳志ありがとうございます。

戦没者等の遺族の皆さまへ 特別弔慰金が支給されます

戦没者等の遺族に対する特別弔慰金支給法が改正され、戦没者の遺族のうち、平成七年四月一日において公務扶助料、遺族年金等の受給権を有する遺族がいない方に特別弔慰金として額面四十万円、十年償還の国債が支給されます。例えば、次の方などが支給

対象となります。

特別弔慰金は、主として次に記載された遺族のうち、次の順序に従って最も順位が先のお一人に支給されます。
(一)平成七年四月一日までに弔慰金(遺族国庫債券)の受給権の取得した方
(二)戦没者等の子

(三)戦没者等と生計をともにしていた①父母②孫③祖母④兄弟姉妹(婚姻、養子縁組により平成七年四月一日に氏が変わっている方は除かれます)

支給対象者のうち、県及び村で把握している方々については、請求手続日程等をハガキで通知します。通知のない方でもお心当たりの方は、今帰仁村役場厚生課(五六一二一〇一)までお問合せ下さい。

第20回 今帰仁村まつり 暑さを吹き飛ばそう!

みんなおいでよ! 運動公園へ

行事日程

時 間	行 事	場 所
2:30～2:40	開会式(テープカット)	会場入口
3:00～5:00	闘牛大会	村営闘牛場
3:00～9:30	即売コーナー、出店、福祉バザー	まつり会場
5:00～	チビッコ綱引き大会	〃
6:00～8:00	ミニ四輪駆動レース	〃
6:00～8:00	ゲーッゲーム(子供向け)	〃
6:30～9:30	バラエティショー ・日舞、琉舞、琉球国まつり 太鼓、太極拳 ・爆笑ステージ ファンーズin NAKIJIN	野外ステージ

8月20日(日)		
1:30～6:00	クラシックカーフェスティバル	ホッケー場
2:00～5:00	グランドゴルフ大会	〃
3:00～9:30	即売コーナー、出店、福祉バザー	まつり会場
4:00～4:30	空手演武	野外ステージ
4:30～6:00	チビッコ相撲大会	まつり会場
5:00～	チビッコスイカ割り大会	〃
6:00～	魚のつかみどり競争	〃
6:30～8:00	盆おどり(老人、婦人)、子どもエイサー いまじん太鼓(小学生)、青年エイサー	〃
8:00～8:10	花火打上げ	ホッケー場
8:10～9:30	職域カラオケ大会	野外ステージ



10月1日は 国勢調査

10月1日、全国一斉に、5年に一度の国勢調査が行われます。日本に住んでいるすべての人が対象です。ご協力をお願いします。

国勢調査

平成7年10月1日

今帰仁村

ありのまま あなたの答えが 国の基礎

村では、毎年各地区の水道施設の整備充実を図ってきている。



▲完成した湧川地区水道施設

進む水道施設整備 水の安定供給に期待 「国民年金還元融資資金など活用」

平成六年度は、施設の老朽化が激しく、高台での出水不良が多い湧川地区の簡易水道を改善し、低廉で豊富な水を安定的に供給するため、老朽化した緩速ろ過池、給水不良地区の高架配水池、電気計装の一部の整備を行った。
総事業費は、二億九百八拾六万二千円で、内訳は、国庫補助金一億三千四百万円、国民年金還元融資五千六百万円、過疎債一千八百九拾万円、その他六万二千円となっている。

8月/葉月

1995年



8/1 火	○ 幼児こぼの教室(土・日・祝祭日を除く毎日)(9:00~17:00コミセン) ○ テイサービス (土・日・祝祭日を除く毎日)(9:00~17:00コミセン)
2 水	○ 心配ごと相談(13:00~17:00コミセン) ○ おやつ食実習(13:30~中央公民館)
3 木	○ 1才6ヵ月健診(13:00~14:00コミセン)
4 金	
5 土	○ おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)
6 日	○ 少年野球大会(各字対抗、村運動公園) ○ 第51回村球格技大会(北山高校ほか)
7 月	○ 国民年金推進協議会総会(コミセン) ○ 区長会(14:00~役場2階会議室)
8 火	○ キャンプ研修会(9日まで、乙羽岳キャンプ場)
9 水	
10 木	○ 仔豚セリ(セリ市場)
11 金	
12 土	○ 学校図書館開放日(各小学校)
13 日	
14 月	
15 火	
16 水	○ 心配ごと相談(13:00~17:00コミセン) ○ 仔牛セリ(セリ市場)

17 木	
18 金	
19 土	○ おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン) ○ 今帰仁村まつり(村運動公園ほか)
20 日	○ 今帰仁村まつり(村運動公園ほか)
21 月	○ 区長会(14:00~役場2階会議室)
22 火	○ 村長距離月例会(17:30~村運動公園)
23 水	○ 心配ごと相談(13:00~17:00コミセン)
24 木	
25 金	
26 土	○ 第1回家庭教育親子パネルフォーラム(14:30~コミセン) ○ 乳児一般健康診査(13:00~14:00コミセン) ○ 仔豚セリ(セリ市場)
27 日	
28 月	
29 火	
30 水	○ 心配ごと相談(13:00~17:00コミセン)
31 木	

道がくらしを運びます、道がえがおを運びます。

編集後記



コバテイシ

■子どもたちにとって「平和を考える」絶好の機会となった戦後五十周年記念事業。至る所に転がる死体の山、焦土となった村や山々の写真、虐待されても何度も立ち向うマサ少年とユキ少女の勇氣ある行動に感動したアニメ「かんからさんしん」、戦争体験談平和資料館に展示された遺留品の数々など。

■ほとんどの子どもは戦争の愚かさを知り、二度と繰り返さないことを。そして、平和な世界が来ることを。

■その成果が青少年の主張大会で表われ、五人の弁士が平和を切実に訴えていた。

■七月二十一日から子どもたちにとって楽しい楽しい夏休み、あそこに行きたい。何々をやりたい、計画が盛り沢山。そう、遊んで遊んでたくましくなれ。あー自分もせめて？日、仕事から開放された。